



目白研心中学校・高等学校

令和6年度 同窓会会報 新版第2号 (通号33号)



新しい出発を 皆様とともに



会長 稲葉 典恵

盛夏の候 皆様におかれましてはお健やかに
お過ごしのことと存じます。

今年は桜満開の時期に入学式が重なり、目白研
心中学校、高等学校の新入生が夢と希望を胸に入
学され、同窓会としてもとても嬉しく感じます。

また昨年は皆様のおかげで目白学園も創立 100
周年の佳節を迎えることができました。

100周年は一度きりということで、同窓会とい
たしましても昨年は実現目標として

- ① 記念会報の発行
- ② 寄付金の贈呈
- ③ ホームページの充実

という三つの項目を立てて進んでまいりまし
た。

多くの方のご協力をいただき昨年は『創立 100
周年記念号』として 48 ページ立て、オールカラー
の記念会報を発行することができました。お読み
いただいた皆様より「写真が懐かしかった」「歴
史を感じた」「佐藤先生の寄稿に感銘を受けた」
など様々な喜びのお声を頂戴しております。

また昨年 11 月 11 日に、『目白学園創立 100 周
年記念事業募金』として同窓会より 500 万円のご
寄付をさせていただきました。目白研心中学校・
高等学校の、教育充実のために使っていただけれ
ばと思います。

またホームページもレイアウトを変更し、バ
ナーを多くして見やすくし、さらに『学園の歴史』
『同窓会の歴史』のコーナーも増やしました。是非
ホームページをご覧くださいと思います。

このように創立 100 周年の同窓会としての目
標であった 3 項目は全て実現することができまし

た。これもひとえに同窓生の皆様のおかげであり、
皆様のご協力あつての 100 周年でありましたこと
をご報告申し上げ、御礼申し上げます。ありがと
うございました。

また昨年は 100 周年ということで様々な方がご
連絡をくださったり、お会いできたりと充実した
年でございました。特に在校時に私の担任の先生
であった恩師、山中啓子先生と再会できましたこ
とは私にとって大変感慨深いものとなりました。
昔とお変わりのない若々しいお姿の先生に、一瞬
にして 10 代の頃に帰ったような気持ちの高揚を
感じました。

同窓会の先輩の皆様と、お手紙やお電話でお話
をさせていただく機会があります。本当に皆様素
敵な年齢の重ね方をされていて、心が若く輝いて
いるように感じます。

今回は 2 名の方に『同窓生からのお便り』とし
て近況を語っていただきました。

ご自身が障害を持ちながらも人生を前向きに歩
まれ、障害者団体の副会長として作品展を企画運
営され、全国を飛び回って活動されている昭和
45 年卒業の佐藤仁子さん。

また目白にかつてあった国際コースを卒業後、
アメリカの大学に留学をされたことをきっかけに、
今では市民権まで取得して、アメリカ人として生
活をされている平成 11 年卒業のヘイニー素
子さんです。

このような先輩や後輩がいる同窓会は素晴らしい
と常々感じております。

目白研心の同窓会にはまだまだ、たくさんの充
実した人生を送られている方がいらっしゃると思
います。どうぞ近況をお寄せくださいますようお
願い申し上げます。

令和 1 年より毎年会報を発行させていただい
ております。この会報を発行することで皆様との
絆を感じます。皆様と共に紙面を作らせていた
だくことができましたら最高だと思っております。
101 年目の出発です。これからも役員一同頑張
ってまいります。今後ともご理解、ご協力のほど
よろしく願い申し上げます。

目白学園の百一年目の スタートにあたり



学校法人目白学園 理事長 尾崎 春樹

同窓生の皆さまは、変わりなくお過ごしでしょうか。

目白学園は、昨年十一月に創立百周年の記念式典を挙げていたしました。式典後の祝賀会では、稲葉同窓会長に乾杯の音頭を取っていただき、ご自身の在学時の思い出とともに、目白研心中学校、高等学校に対する熱い思いを披歴していただきました。また、式典に際し、同窓会から多額のご寄付を頂戴しましたこと、心より感謝申し上げます。

目白学園は現在、大学・大学院、短期大学、中学、高等学校の在籍学生・生徒数が七千人を超える総合学園に発展していますが、短期大学が創立六十周年、大学が今年で四十周年ですから、学園の百年の歴史の主役は目白研心中学校・高等学校ということになります。

学校の魅力を測るのに、生徒数の動向がその全てを表すわけではありませんが、一つの参考にはなります。2000年代初めの十年ほどの目白学園中学校・高等学校は、入学者が

年々減少する厳しい状態に置かれていたことが、2009年から目白研心中学校・高等学校に名称変更すると同時に、男女共学校としてスタートし、徐々に学校の勢いが回復していききました。

2012年には、松下秀房氏が校長に就任され、そのリーダーシップと当時の逸見理事長の支援のもと、2013年には学習支援センターが設けられ、学外スタッフを活用しながら放課後の生徒の個別学習をきめ細かくサポートし、学内ですべての学びを完結できる仕組みが整えられました。もちろん、学習支援センターの貢献だけでなく、教員の皆さんの熱心な指導と、これに応える生徒の努力が功を奏して、この頃から、有名大学などへの進学実績が顕著に向上してきました。また、2014年には中学校に、2015年から高等学校にスーパーイングリッシュコース（SEC）が設けられ、「英語の目白」の評判にふさわしい充実した教育が展開されています。

現在の目白研心中学校・高等学校は、吉田直子校長のもと、日々、充実した教育活動が展開され、進学実績だけでなく、生徒の皆さんの文武にわたる活発な活動も評価され、少子化が進む中、志願者数は十年前の1.7倍に増え、在籍生徒数も千名を超える充実した状態にあります。この勢いを保ちながら、学園創立百一年目のスタートを切り、今後とも力強く進んでいきたいと思っております。引き続き、暖かいご声援とご指導をいただきますよう、お願い申し上げます。

新しい 100 年に向けて



校長 吉田 直子

同窓会の皆さま、お元気でいらっしゃいますか。稲葉同窓会長をはじめ皆さま方には日頃より母校のためにご支援をいただき、深く感謝申し上げます。特に昨年創立 100 周年に際しては、同窓会より多大なご寄附を賜りました。また個人としても多くの卒業生の方が「創立 100 周年記念事業募金」にご協力下さいました。お寄せいただいた浄財により中高では体育館の冷暖房化が実現し、ICT 教育の環境整備も進みましたことをご報告申し上げます。そして記念の年をつつがなく、喜び深く迎えられましたのも同窓会の強い絆に支えられてのことと存じ、心より御礼申し上げます。

さて本年度は 4 月 8 日に、中学校に 81 名、高等学校に 256 名、計 337 名の新入生を迎え、稲葉会長にもご臨席を賜り、入学式を挙行いたしました。5 年ぶりに中高合同での入学式でしたので、佐藤重遠記念館講堂は新入生と保護者の方でほぼ満席でした。また、ここ数年では珍しく満開の桜に彩られ、大変晴れやかに次の 100 年に向けてスタートすることができ、感慨無量です。

この入学式の式辞で、私は新入生に「なん

で学校に行って勉強しなくちゃいけないのか?」と問いました。子どもたち一人ひとりの習熟度や個性を鑑み、学校教育現場では「個別最適化」を目指した学びが求められています。ともすると「個別最適」だけが一人歩きし、教室で一緒に学ぶこと自体が否定的に解釈されがちだからです。確かに知識の習得だけなら、オンライン授業で十分です。コロナ禍で学校活動がストップし、「人と交わらない生活」を若くして体験した世代は、尚更そのような思考に陥りがちです。しかし学習指導要領では「個別最適な学び」とともに「協働的な学び」の実現も両輪として掲げられています。同年代の生徒たちが机を並べて授業を受け、一緒にお昼ごはんを食べ、行事運営ではぶつかりあい、クラブ活動に青春を賭ける。こうした学校生活の場面では、対話が不可欠です。そして対話を通して、自分とは異なる感性や考え方を持つ友人を理解し、泣いたり笑ったりしながら人間関係を作っていくのです。これは社会に出たときに必要な「生きる力」を育むプロセスに他なりません。同窓会の皆さまにも本校で過ごした日々を思い、同感していただけると確信しています。

目白研心は、個人では経験できないことを経験できる、成長へのチャンスにあふれた学校として、本年度も体験を重視した教育活動を行ってまいります。同窓会の皆さまにも後輩たちの様子を知っていただきたく、ホームページなどを通して発信してまいりますので、最強の応援団として見守って下さい。よろしく願いいたします。

令和6年度総会の開催

同窓会会則第13条により「令和6年度目白研心中学校・高等学校同窓会総会」を紙上総会とさせていただきます

●令和5年度事業報告

- 4月 令和4年度決算書、予算案作成、会計監査、会報原稿依頼
松下秀房校長から吉田直子新校長に交代のお知らせをHPにアップ
- 4月7日 入学式に会長参列
- 4月13日 入学式の様子をHPにアップ
- 5月10日 一部の会報原稿を印刷会社へ入稿
- 5月19日 HP (アイコン) 改訂版をアップ
- 6月1日 100周年記念号の会報を印刷会社へ入稿
- 6月 会報校正作業
- 6月12日 100周年記念号の会報の告知をHPにアップ
- 7月10日 100周年記念号会報を発送
会報発送の告知をHPにアップ
- 7月12日 100周年記念号の会報を職員室
学校関係者に配布
- 11月8日 目白研心中学校・高等学校 芸術鑑賞会に役員参加
- 11月11日 創立記念日 ホームページ会長挨拶文更新
創立100周年記念事業募金(寄付金)贈呈と学園からの感謝状贈呈式
創立100周年記念式典に会長と副会長が出席(学園に生花スタ

ンドを贈る)

- 11月15日 創立100周年記念動画をHPにアップ
- 11月18日 定例役員会
- 12月19日 芸術鑑賞会、100周年寄付金贈呈式、式典の様子をHPにアップ
- 12月26日 顧問会
- 1月31日 目白学園の歴史、同窓会の歴史をHPにアップ
- 3月1日 同窓会入会式・卒業生新幹事紹介
- 3月2日 卒業式に会長参列
- 3月5日 入会式、卒業式の様子をHPにアップ

その他、住所変更、パソコン入力作業、会報に関わる作業、中学校・高等学校との打ち合わせ等必要に応じて役員会や活動を行っております。

●令和5年度決算報告、監査報告、令和4年度予算案

(同封の別紙をご参照ください)

●令和6年度活動報告

サポート終了のためPCを新規購入。会報発行、住所変更作業、その他学校と協力しながら活動してまいります。

●令和6年度同窓会卒業生新役員は次のページの通りです(本年は役員の変更はありません)

令和6年度新役員

幹事 伊藤 誠浩
渋谷 百花
植田己太郎
小川 和沙
窪木 萌乃
田中喜一郎

小貫 信昭
金木 紗依
藤原 良太
丸山 奈々
剣持 啓吾
佐々木芽衣

西久保 陸
長谷場大智
服藤 涼
宮本 皓稀
岡田 光玄
佐藤 梨沙



令和6年度 新幹事が卒業式前日の入会式にて紹介されました

●卒業生新幹事より

小貫 信昭

この度、同窓会新役員のリーダーになりました、元3年4組の小貫信昭(おぬきのぶあき)です。中学から入学したので6年間、目白研心で学んできました。高校生時代は3年間、クラス委員として活動させて頂きました。中学時代は林間学校や、イングリッシュキャンプなど楽しい行事がありました。ところが2020年中学3年に進級したばかりの時、新型コロナ感染拡大による自粛という緊急事態になりました。学校も休みになり、当初の予定では夏にカナダ語学研修が予定されていましたが、その行事も中止になり、その後再開した学校生活ではマスク生活で、友人達と思うように会話や食事ができず、とても辛かったです。そんな生活は高校に進学しても続き、高校に進学した最初の1年間もコロナウィルスの影響で行事が実施

できず、いつになったら制限なく学校生活を送れるのだろうかとも考えていました。しかし高校2年生になると新型コロナウイルスの感染拡大も少しずつですが収束していき、体育祭や桐陽祭はもちろん、高校生活の最大の行事である修学旅行なども実施できたので、僕たちのために一生懸命計画をしてくれた先生方にはとても感謝しています。僕には感謝してもしきれない恩師が2人います。まず僕を6年間いつも支えてくれた英語科の岩橋芳伸先生、そして高校3年間の担任であり今の自分へと育ててくれた国語科の仁井田始先生です。僕はこのお二人の先生がいなかったら今の自分はいなかったと思います。お二方の先生のおかげで今の自分に成長でき、その恩を忘れずに頑張っていきたいと思います。これから同窓会役員として精進していきますので何卒よろしく願いいたします。

祝・100周年

同窓会より目白学園へ寄付金を贈呈

11月11日(土)に開催された目白学園創立100周年記念式典に合わせ、目白研心中学校・高等学校同窓会として学園の100周年記念事業募金として寄付金を贈呈させていただきました。

新型コロナ支援金の時と同じように今回も中学高等学校同窓会と短期大学部校友会、大学同窓会の3つの組織が一つとなり贈呈式を行いました。

贈呈式は13時より本館ボードルームにて行われ、学園からは尾崎理事長、保谷常務理事、太原大学学長、山田短期大学部学長、吉田中学高等学校校長が出席されました。同窓会からは「目白研心中学校・高等学校同窓会」「目白大学短期大学部校友会」「目白大学同窓会」の会長および副会長が出席しました。

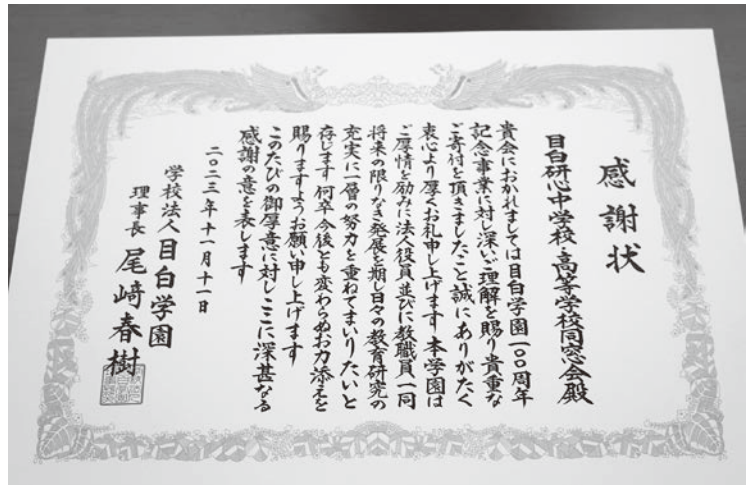
創立100周年という記念すべき年でもあり、中学校高等学校同窓会としても過去最高のお祝いをということで役員会の承認を経て、各同窓会組織が「中学校・高等学校」「短期大学部」「大学」

に500万円ずつを寄付いたしました。

式では会長から学園へ目録が贈呈され、学園からはそれぞれの同窓会に感謝状が贈られました。

尾崎理事長から感謝のお言葉をいただいた後、和やかな雰囲気写真撮影が行われました。

創立100周年、おめでとうございます!この寄付金を学園の発展のために役立てていただければ幸いです。そして、学園の益々のご発展をお祈り申し上げます。



感謝状



左から、短大校友会副会長、短大校友会会長、大学同窓会会長、尾崎理事長、稲葉会長、平井副会長、中島副会長

『目白学園創立100周年記念式典』に参加

11月11日(土)、佐藤重遠記念館にて『創立100周年記念式典』が行われ、同窓会から会長1名、副会長2名が出席しました。

15時から行われた記念式典では、前座として『100thメッセージ100周年記念動画』を鑑賞後に、チアリーディング部が登場。中高の『POLARIS』と大学・短期大学部の『QUAKES』の合同チームで、躍動感あふれる見事なパフォーマンスが披露されました。

式典の冒頭では、尾崎春樹理事長が学園の歴史について開会の辞を述べられました。続いて、会社経営をされている経営学部卒業生を含む3名の来賓の方々が祝辞を述べられ、目白大学の太原学長による『目白大学の歴史と未来』と題する記

念講演が行われました。

また『卒業生トークセッション』では「足の速いお笑い芸人」として有名な猫ひろしさんと、NTT西日本陸上競技部の堀越信司さん(ともに大学の卒業生)が登場。ユーモアたっぷりのトークショーで場が盛り上がりました。

中高の卒業生である俳優の中村アンさんからは「100周年のお祝いメッセージ」ということで、直筆のお手紙を寄せていただきました。司会を担当してくださった、元NHKアナウンサーの川端義明様がお手紙を読み上げていただきました。

式典の最後は、短期大学部の山田学長による挨拶で締めくくりました。厳粛さだけでなく、明るさとユーモアにあふれる素晴らしい式典でした。



目白学園創立100周年記念式典



チアリーディング部のパフォーマンス



100THの文字をポンポンで!



尾崎理事長の式辞



目白大学太原学長の記念講演



トークショーの様子



短期大学部山田学長による閉式の辞

第2部(記念祝賀会)では、学園の100周年の歴史を築いてきた中学校・高等学校を代表し、吉田直子校長と同窓会の稲葉会長が挨拶をしました。

会長は挨拶のなかで、目白商業の3名の大先輩のお話を通し、戦争という苦難を乗り越えられ、現代の生徒の皆さんにエールを送ってくださっているエピソードを紹介しました。

「自分たちが体験した命の危険にさらされた日々を、今の子供達に経験させてはいけない!」昔と同じ場所に今も学園があり、100周年を迎えた事が嬉しくてしかたない」等の先輩からのメッセージをお伝えしました。

また会長は「目白商業の先輩の姿は100年の歴史の重みであり、そのような先輩がいらっしゃる事が目白の同窓生の誇りであること、目白学園

がこの先も永遠に続き、私達がいつでも帰って来られる場所であってほしいと願っております」と挨拶を結びました。

創立100周年おめでとうございます!



稲葉会長(記念祝賀会での挨拶)



吉田校長(記念祝賀会での挨拶)



記念館入り口に飾られたそれぞれの同窓会から100周年の生花お祝いスタンド

同窓生からのお便り

大空を自由に羽ばたきたい！

昭和45年卒業 佐藤 仁子 (旧姓 篠田)

昭和41年春、中学3年生の私は札幌から東京に転校してきました。当時、病気で学校を休みがちな私が高校受験にあたり目白学園を志望したきっかけは、奥様が目白学園の卒業生だったという担任の先生から「目白学園なら一人一人をしっかりと見てくれるから、授業に遅れを取らず卒業できるよ。君なら大丈夫だよ」と進学を進めてくださったからです。転校が多かった私が、人生で初めて入学した学校を卒業することができたのも目白学園です。

目白学園は、緑に溢れ、春はピンクの桜、牡丹色のつつじ、温室にはバナナがあり、池には蓮の花（千葉で発掘された千年前の蓮の種子からの花）が咲き、弥生時代の竪穴式住居がありました。入学した私はひとつひとつが驚きでした。登校して校庭を散策するのが日課になりました。生物の先生から頂いたつつじの枝は、挿し木をして育てました。牡丹色のつつじは今でも我が家で毎年綺麗に花を咲かせています。部活は演劇部でした。

病気の私は、身体に痛みが走り週の半分は学校をお休みしないと体が動かなくなりました。高校1年の夏には低色素性貧血で血液濃度が普通の人の半分になり、心臓肥大で大好きな体育は毎回見学、楽しみにしていた九州への修学旅行もお留守番になりました。しかも高校3年の12月にインフルエンザにかかり急に目が全く見えなくなりました。昭和45年1月には国の難病指定である球後視神経炎『多発性硬化症・

視神経脊髄炎』と診断され入院生活になりました。卒業間際で授業にも出られず、試験も受けられず、卒業できるかどうか不安になりました。どうしてもみんなと一緒に卒業したかった私は、教科担任に「テストが受けられないので、その代わりレポートを提出しますので卒業させてください」と直談判しました。その熱意が功を奏してか、無事にみんなと一緒に卒業することができました。

その後父の転勤で仙台へ。仙台には世界神経眼科学会に、目からくる日本人特有の『多発性硬化症・視神経脊髄炎』があると発表した先生がおります。その先生（東北大学附属病院の教授先生）に紹介されて受診しました。それ以降、東北大学附属病院の専門医に継続診療中で、一週間の半分は病院通いがお仕事の私です。

卒業から半世紀以上経ち、近くに同窓の友はおりませんが、東京の友人とは今でもLINEで交流しています。

普通でしたら人生これで諦めるのですが、私は縁あってなぜかごく普通に結婚をしました。現在まで20回以上も再発しており、医師からは「前例がないから子供は諦めなさい」と出産を反対されましたが2人の子供を産み、今では孫が3人おります。昔は発病したら寿命は20年と言われていました。私の場合発病は幼少期でしたので、まさしく『病と共に』生きる人生であり、今の私は『病と共に』歩み、私を成長させてくれました。

子育てをしている時は子供と一緒に成長したいとPTA活動に携わり、その後は設立から53年の歴史をもつ『全国多発性硬化症神経脊髄炎友の会』という患者団体で30年以上活動し、



毎日元気に飛び回っております (筆者 左)

その大半は副会長をやらせていただいております。(名前は立派ですが雑用係です) 今年には患者会の総会で6月の始めに広島に行って帰ってきたばかりです。

また『パレット kty (キティ)』という任意団体では、我が家を事務局として開放しています。この団体は病気や事故で障害を持った方々がリハビリのため制作した作品の発表の場を企画して、全国で展示する活動を続けています。合言葉は『いろ・・・色・・・いろ いっしょに遊ぼう 夢織りタイム』、障害を持っていても家に閉じこもらず、安全に外へ出かけ社会参加をしようというグループです。団体名の由来は絵具絵を出すパレットに思い思いの色を出して自分らしさを表現しようとの想い。ケイ・ティ・ワイ (kty) は発起人の頭文字でしたが、皆さんがキティと呼ぶようになりました。全国に点在する会員は皆、飛行機や列車などの交通機関を利用し、毎年のように仙台作品展示会(2泊3日)に参加し、会場で作品説明や簡単にできる作品作りの講師となり皆さんに教えるなど、障害者の方が生き生きと活動しております。もちろん展示する作品は何でも自由です。小さな輪が、やがて大



パレット kty 仙台展示会の作品

きな輪になるように活動が広がっています。

そんな私ですが、平成3年には一種一級の身体障害者(視覚障害・両上下肢機能障害・聴力障害)となりました。それでも助けが必要な人のために動けることが楽しい毎日ですし、私も楽しみたい。身体が許す限り、まだまだ「大空を自由に羽ばたきたい!どこまでも飛んで行きたい!」そう思い今日も電動車椅子で飛び回っております。

最後になりましたが目白学園に入学して本当に良かったと思っております。機会があったら学校を訪れて校内を散策したいと願っております。



小さな輪がやがて大きな輪になるように活動が広がっています

アメリカ人としての日々

平成11年卒業 ヘイニー 基子 (旧姓 高橋)

皆様いかがお過ごしでしょうか?異なる年に卒業しても、同じ目白学園での思い出を共有できる同窓生の皆様と繋がれる、『同窓生からのお便り』という場所を提供して下さりとても感謝しております。



私は中学まで英語が得意だったのと、英語が話せれば世界中の本が読む事ができたり、世界中の人と話せると思い、まだ女子校だった時の目白学園高等学校国際コースに入学をしました。国際コースは当時18名前後のクラスで、帰国子女が半分ぐらいいました。3年間クラス替えがないという特殊なクラスでしたので、帰国子女もそうでない私もそれぞれに、英語や他のアクティビティ (活動) や勉強に熱心に取り組んでいたことを今でも鮮明に覚えています。修学旅行もイギリスとスペインで、今思えば少人数のクラスでしたが、ずいぶん贅沢な修学旅行をさせていただいたと思います。

そのような国際的環境と学園生活は私に刺激を与えてくれ、やがてアメリカの大学へ進学したいという勇気を与えてくれました。

高校卒業後、夏の入学時期に合わせて渡米し、カンザス州の大学に進学しました。当初はアートセラピーを学びたかったのですが、在学中に学部がなくなってしまい、得意科目を考えてコマースシャルグラフィックのマーケティングとデザインを専攻する事になりました。渡米してすぐ、まだそれほ

ど英語が上手でない私が広い土地で生活していくのに必要だと思い、まずはアメリカの運転免許を取得しました。初めての海外での生活は、大学生活の寮、ルームメイトとのアパート暮らしなど、とても楽しく環境にもすぐに適応できました。大学の授業は最初全部聞き取れないのはもちろんですが、授業内容が専門的になればなるほど聞き取れても意味がわからないことがよくありました。(笑)

大学在学時は夏休みには帰国し、高校の時の先生や友達と会ったり、お友達がアメリカに遊びに来てくれて、一緒にアメリカ縦断までしてくれました。アメリカで学生生活を送るにつれ、アメリカで生活したいという気持ちが強くなりました。大学卒業後は学生ビザが使えないので色々ありましたが、最終的に保安局に就職し、グリーンカード (永住・条件付き永住者カード) を申請することができました。

グリーンカード取得後は色々な仕事に挑戦をしてその時代に養ったファイナンシャル (金融) の知識は後に大いに役立つこととなります。

バナナパブリックという日本でも知られているアパレルメーカーに勤めていた時に、主人と出会い結婚したのがかれこれ10年前のこととなります。

その間、アメリカ生活をスタートさせたカンザスからセントルイスに、その後ワシントンのシアトルに引っ越してきました。

現在はシアトルの不動産会社でリアルエステートブローカー (アメリカの不動産ライセンスで日本の宅建のような資格) として働く充実した日々を送っています。以前の経験を活かし、ファイナンシャルコンサルタントとしても経験を積めるようになっ

てきました。アメリカでは多くの人が2足3足のわらじを履いているように仕事をしています。まだまだ挑戦したいプロジェクトもありこれからもずっと働きたいと思い、日々励んでおります。

アメリカは収入アップしていくためには、5年弱で役職が上がったり、転職してステップアップしていく事が必要な国です。そのアメリカでずっと仕事を続けるには、自由に転職したいと思った時に、グリーンカードより、アメリカ人になるという市民権取得の方が有利でした。市民権があればアメリカの政府機関でも働けるので仕事の幅も広がります。それなので私は市民権を取得しアメリカ人となる道を選びました。

英語が得意ということで目白学園の国際

コースを選んだ私が、アメリカの大学に行き、今では国籍も変わって日本人からアメリカ人になりました。もちろん大統領選挙にも投票できます (笑)

以前はよく日本に帰国していたのですが、パンデミック (新型コロナ感染拡大) になってからは帰国ができなくなりました。ポストパンデミック (新型コロナが5類移行し、インフルエンザと同等になった) 後でもあまり遠出はしていません。それでも SNS でお友達や先生と繋がることができ十分幸せを感じています。同窓生の皆様がいつでも訪れることのできる思い出の場所としてこれからも目白研心中学校・高等学校と同窓生の皆様の益々のご発展を心より願っております。



職場の仲間とシアトル球場にて



アメリカの広大な大地で (写真はご主人)

研心ミニレター

(昨年のおハガキひとことより)



●昭和 21 年卒業

S・S

目白学園創立百周年誠におめでとうございます。大変立派な同窓会会報をお送り下さり有難うございました。小生 94 才になりますが、熟読させていただき在学当時の記憶がよみがえり懐かしく大変感銘いたしました。

●昭和 28 年卒業

I・K

何時も同窓会のお知らせ有難うございます。昔を頭に浮かべ楽しく見、読む事が出来ました。90 才になる今(コロナ時代)と昔と種々と時代を歩み今は 1 日、1 日が大切であり、健康の大切さが一番です。大切な毎日を健康でお過ごしください。お元気で。おたより感謝しております。

●昭和 27 年卒業

A・K

昭和 27 年度卒業です。90 才と高齢になりましたが元氣です。会報を見て中落合が懐かしく思っております。母校のご発展を祈念いたします。

●昭和 31 年卒業

S・Y

目白学園創立 100 周年誠におめでとうございます。記念号として立派な会報をお送り下さり有難うございます。私が在籍していた頃と大きく変わり、まさに昭和は遠くなりにはけりですね。目白研心高等学校…校名も変わり益々の発展をお祈りしています。

●昭和 34 年卒業

S・S

商三 B、国金海二先生のクラスでした。円型校舎から卒業できた年代です。田中穂先生、安藤、真山、宮田、新井先生方に学びました。運動会ではフコ校長から褒美いただきました。旧、海老原です。稲葉会長お世話様になります。

●昭和 35 年卒業

M・H

会報ありがとうございます御座いました。私は今 80 代です。目白学園入学時の校長は佐藤フユ先生で途中から重遠先生に変わりました。在りし日の御二人の写真懐かしく思いました。今は週一回のプールと市主催のウォーキングに参加したりと健康維持につとめています。最後になりますが目白研心中学・高校の益々の発展をお祈りします。

●昭和 35 年卒業

H・T

充分楽しく見させていただきました。60 年前を思い出し懐かしかったです。令和 5 年度同窓会会報新版第一号送っていただいて、あまりにも立派なのでビックリしました。歴代の役員の皆様のお力と思うと感謝の心でいっぱいです。ありがとうございます。益々のご発展をお祈り申し上げます。

●昭和 35 年卒業

T・T

見応えのある会報ありがとうございます。創立 100 周年おめでとうございます。その歴史の三分の一程のところで学んでいた事に感慨ひとしおです。世の中が平和で益々母校が発展する事を願っています。

●昭和35年卒業

N・Y

同総会会報創立100周年記念号懐かしく拝読致しました。時代の流れと共に歩み続ける母校に感慨深く私も現在82歳、高校時代に思いを馳せ足腰丈夫なうちに機会があったら学校まで足を運んでみたいと切に思っております。母校のさらなるご発展をお祈りいたしております。

●昭和35年卒業

T・K

会報ありがとうございます。100周年おめでとうございます。病を乗り越え81才ですが元気に過ごしています。会報をいただくと青春の1ページを思い出しワクワクし懐かしみ楽しいひと時です。

●昭和35年卒業

A・S

立派な創立100周年記念号ありがとうございます。卒業して63年にもなりますが昔を思い出し、色々懐かしく思いました。

●昭和36年卒業

K・A

目白学園創立100周年記念同窓会報ありがとうございました。卒業して60余年経ちました。思い出が次々と浮かび懐かしく拝読いたしました。いつも感謝しています。高齢となり外出もままなりません。ご発展をお祈りしています。

●昭和37年卒業

Y・A

100周年おめでとうございます。同窓会会報を拝見、懐かしく見ました。今までにクラス会2回開催、皆で当時の事を語り合いました。又、去年秋には仲の良い友と4人で会食。高校時代にもどりあだ名で呼び合いながら楽しく過ごす事が出来ました。これからも増々発展する学園をお祈りしています。

●昭和37年卒業

M・T

創立100周年おめでとうございます。会報に昭和38年当時の制服に私自身が載っていて感無量です。楽しい高校生活でした。ご発展をお祈り申し上げます。

●昭和37年卒業

I・K

立派な会報ありがとうございます。100周年になるのですね。現在も恩師船中先生、川口先生と食事会で集まっています。目白会と名付けて楽しい会です。

●昭和38年卒業

K・C

目白学園創立100周年号おめでとうございます。又、ご案内ありがとうございます。目白学園の頃が大変懐かしく思い浮かべております。目白の森で友と語り合った日々を現在の頃に戻った様です。20年保育園の園長を致しておりますが、今後ともかわいらしい園児と共に同窓生の皆さまのご健康を心から願っております。

●昭和39年卒業

S・M

会報を読ませていただき内容がとても素晴らしく知らなかった事も今回の会報で色々な事を沢山知ることが出来ました。又、今さらの様に「主師親」と言う理念のもとで学べましたことを深く感謝しております。

●昭和40年卒業

T・C

今は、火曜金曜日に「手話ダンス」で体を動かして皆さんとお話をして楽しんでいます。今年76才になります！（週2回のリハビリをしています）

●昭和40年卒業

Y・T

母校創立100周年おめでとうございます。来年こそは遊び舎に伺いたいと思っております。

●昭和41年卒業

A・N

100周年おめでとうございます。15才で同級生になり早くも60年友人仲間と続いております。有難うございます。後輩たちも良い出会いを！会報うれしく拝読いたしました。

●昭和41年卒業

A・T

創立100周年おめでとうございます。立派な会報が届きました。会長さんを始め役員の皆様に感謝申し上げます。先日久し振りに旧友と四国旅行に行っ楽しんできました。高校時代の友達は一生の友です。

●昭和42年卒業

K・K

百周年誠におめでとうございます。目白学園創立百周年記念号をいただき歴史の重さ、卒業生の思いが詰まった一冊、大変嬉しく思いました。私が卒業した目白学園最高の誇りと喜びをいただき深く感謝申し上げます。楽しかった中学、高校忘れません。ありがとうございました。

●昭和42年卒業

M・T

100周年おめでとうございます。香川先生が御元気で学生時代を思い出しました。会報を懐かしく見て沢山の思いが走馬灯の様に流れて行く思いを友人と話しました。

●昭和42年卒業

N・M

100周年おめでとうございます。思えば私が学園に入学した年が40周年でした。その時生まれた子供は還暦ですね。制服も白いブレザーにセーラー服、変わっていませんね。私達の頃は女子校で人数多くマンモス校でした。今は男の子もいて、ゆったり学べている様子、羨ましいです。会報を拝見し一枚一枚ページを捲りながらとても懐かしく思いました。

●昭和42年卒業

K・Y

私は昭和42年卒ですが楽しい学園生活を送りましたし、娘も目白学園高・短大に入学して良き学生生活を送りました。今年は孫も目白を希望しておりますが実現しましたら3代続く目白です。私も後期高齢者となりましたが、目白の発展を心よりお祈り申し上げます。

●昭和42年卒業

A・R

同じ卒業生の旧姓徳永さんの文を見つけました。懐かしいです。私もまだ主人と2人、猫2匹で生活しています。今回の会報はとても懐かしく見ました。特に制服が懐かしかったです。

●昭和42年卒業

H・M

こんにちは、今年は75才になります。病院通いながらも元気しております。同級生が一人亡くなり寂しくなりました。皆様のご活躍楽しみにしております。

●昭和43年卒業

O・M

100周年おめでとうございます。歴史の重さを感じています。この世に命頂き、一度きりの人生で目白学園に縁があり、この時代に出会って有難いと思っています。今年恩師が100才で他界しました。先生の生き様が、人間が好きで温厚で素晴らしい人生のお手本でした。その当時の友と60年近く交流があり、今も感謝の日々です。皆様方の御健康をお祈りしております。

●昭和43年卒業

Y・Y

創立100周年本当におめでとうございます。高校・短大と卒業してその後の「同窓会会報」を拝読させてもらい色々懐かしい記憶を思い出しています。感謝いたします。目白研心中学校・高等学校、益々これからもご発展を心よりお祈りしています。

●昭和43年卒業

M・Y

目白学園の創立100周年を心からお祝い申し上げます。研心ミニレターから懐かしい友の名前がありました。(旧姓岩田さん)私は喜寿(77才)に向けて元気に過ごしたいです。

●昭和45年卒業

S・S

創立100周年記念号を拝見して懐かしく通学している頃を思い出しました。恵まれた環境で学べた事に感謝しています。学友とは今でも友好を深めています。

●昭和43年卒業

Y・K

私は「女子」のつく目白学園を卒業しました。時代は流れ、元気良く目白学園が変化する様子を目白学園創立100周年記念号が伝えてくれました。自分は目白学園のどの時代に過ごしていたのか…若々しい生徒達の写真を見ながらとても懐かしく読ませていただきました。有難うございました。

●昭和47年卒業

M・Y

目白学園創立100周年おめでとうございます。人生で一番充実していて楽しい時を過ごさせて頂き思い出多き時でした。(先生方、友達にも恵まれました)坂の多い街並で懐かしく感じます。同窓会役員の方々には大変感謝しております。これからもよろしくをお願いします。

●昭和45年卒業

K・T

都内にありながら素晴らしい環境に生まれ学園生活を懐かしく思い出しております。創立100周年心よりお喜び申し上げます。目白研心高等学校の益々のご発展心よりお祈り致します。

●昭和48年卒業

Y・N

創立百周年おめでとうございます。50年前とのあまりの変わりように驚くばかりです。8年間の学園生活は楽しいことしかありません。白のブレザーが変わっていないことがとても嬉しく思います。

●昭和45年卒業

N・T

目白学園創立百周年を迎え何と喜ばしい事でしょう。令和5年度の役員の方々、どうぞ宜しくお願いいたします。新版を読みながら思い出に心があたたくくなります。

●昭和49年卒業

I・E

創立100周年おめでとうございます。卒業して50年近くなりますが今も仲の良いクラスメイトがいます。共学になっても制服が変わらないことがとても嬉しく思い出がいろいろ浮かびます。ぜひ、セラー服のままでいてほしいと思います。

●昭和45年卒業

H・M

創立100周年おめでとうございます。教室にあった“主・師・親”の額を思い出しました。自分も近況を書いたことがないのに研心ミニレターに知っている名前がないかな?と探してしまいました。

●昭和49年卒業

M・Y

目白学園創立100周年おめでとうございます。“100周年記念号”発行のために会長様はじめ役員の皆様のご尽力に感謝申し上げます。ありがとうございました。夢と希望に向かって目白の生徒さん、学生さんのご活躍をお念じ致しております。

●昭和49年卒業

O・C

100周年記念号ありがとうございます。私が通学していたころは50周年でした。半世紀前の事、昨日のように思い出します。

●昭和53年卒業

A・E

カラーの会報を楽しく読ませていただきました。ソフトボール部で汗を流していた校庭を思い出しました。週に2、3回テニスをしています。週末は娘孫達と出かけるのが楽しみです。

●昭和50年卒業

K・Y

目白学園創立100周年おめでとうございます。目白学園を卒業してから48年の月日が経ちました。子供達も独立し、今は主人とワンちゃんとのんびり過ごしています。

●昭和53年卒業

N・M

気がつけば卒業して40年以上が過ぎております。たまに制服姿(白ブレザー)の学生さんを見かけると学生時代の事が思い出されます。息子も社会人になり8年です。私は現在もフルタイムで働き元気に過ごしております。

●昭和52年卒業

K・K

創立100周年おめでとうございます。今年の11月で65歳になります。今、孫4人に囲まれ去年96歳の母を看取り主人と穏やかな日々を過ごして居ります。今東京と名古屋、二拠点生活です。6年間通い青春の全てが今光り輝いて目白学園での学生生活を思い出して居ります。かけがえのない日々を感謝申し上げます。

●昭和54年卒業

N・A

百周年おめでとうございます。同窓会を支えてくださっている方々には日頃より大変お世話になっております。今回会報を目にして、とても懐かしく涙して拝見いたしました、香川先生、野中先生方にご指導いただいた頃が懐かしいです。皆様様方、お身体ご自愛くださいますように。

●昭和53年卒業

S・Y

100周年記念号心を込めて作ったという気持ちが感じられ感動しました。ありがとう。生徒として3年間、吹奏楽部コーチとして32年間を思い出し懐かしかったです。音楽(Sax)の仕事続け、さらに清掃の仕事を2018年から始めて元気に毎日過ごしております。

●昭和54年卒業

K・K

100周年記念号の会報、興味深いものでした。なかでも戦前のモノクロ写真をカラー化したものはこの間撮られたかのような写真で先人達の御苦勞のお陰で今があることに感謝しています。「時代を繋ぐ目白の絆」も読み応えありました。

●昭和53年卒業

S・Y

創立百周年誠におめでとうございます。記念の同窓会報を楽しく拝見しました。佐藤元理事長先生の学園の歴史についての記事はとても感動しました。母子でお世話になった学園に孫も通える年頃になりました。益々の発展を祈念しております。

●昭和55年卒業

T・T

目白学園創立100周年並びに同総会会報新版第1号発行おめでとうございます。積み重ねてきた歴史の層に自分もいるのだと思うとなんだか嬉しくなります。立派な会報、当時を思い出しながら拝読致しました。たずさわられた全ての方に感謝致します。ありがとうございます。

●昭和55年卒業

N・M

毎年会報をお送りいただきありがとうございます。目白学園創立100周年記念号を拝読し懐かしい母校の様子がよみがえり更なる発展に喜びを感じております。還暦を過ぎ同級生の皆さんにお会いしたいです。

●平成7年卒業

T・K

創立100周年おめでとうございます。会報を拝見する度に目白学園で過ごした5年間に懐かしく思います。久しぶりに母校を訪れたいと思います。

●昭和57年卒業

N・Y

100周年記念号を拝読しまして改めて歴史ある学校で学べたことを大変幸せに思います。3年間書道部に所属で田口先生のご指導のもと、川越での夏合宿は心に残る貴重な経験でした。還暦を迎える今、これからの人生も常に目標を持ちながら前を向き昨年始めたフラダンスを仲間と共に楽しんでいけたら幸せです。

●平成9年卒業

I・R

100周年おめでとうございます。昨秋、久しぶりに桐陽祭に娘2人とお伺いし、すっかり変わったきれいな校舎にびっくりしました。益々の繁栄を楽しみにしております。

●昭和59年卒業

T・K

いつも心待ちに拝読しております。創立100周年おめでとうございます！目白学園の歴史の特集、写真が沢山で分かり易く大変良かったです。また、旧知の先生や皆様のお写真とコメント、懐かしく嬉しく拝見しました。PS『現在の制服』の“白ブレ”の他、“紺ブレ”も good ♥

●平成12年卒業

S・E

創立100周年おめでとうございます。高校3年間、また教育実習で2週間、目白学園では大変お世話になりました。航空会社に就職し、今は育児休職中です。冊子を拝読し、お世話になった先生方、級友に会いたくなりました。皆さまどうかお元気で、いつかお会いできる日を楽しみにしております！

●昭和59年卒業

I・Y

100周年おめでとうございます。「特別な会報」だけあって、とても素晴らしい会報でした。主人も「すごい!!」と言っていました。会報に携わった方々お疲れ様でした。

●平成28年卒業

H・K

100周年おめでとうございます。目白研心卒業後、チアリーディング部のコーチを6年、大学院生中に家庭科講師として2年母校と関わった日々をととても幸せに思います。友と過ごした日々、学びの日々を胸に来年母になりますが誠実・敬愛・感謝を子にも伝えられる人でありたいと思います。

●平成2年卒業

H・M

創立100周年おめでとうございます。100周年記念号を拝見しながら母校が発展し、更に大きく成長している姿にとっても感銘を受けました。白いブレザー懐かしいです。

●令和5年卒業

S・M

私は今、将来に向け新しい知識を沢山取り入れて日々学んでいます。正直勉強は大変ですが自分が学びたい分野をひたすらに学び続けられる大学生活は毎日が楽しく充実しています。これからも夢を見失わず大学生活を楽しみながら成長していきます。



先生コーナー

F・K 先生

ご案内ありがとうございました。学園の発展と同窓会の発展を祈念しております。皆様方のご健康をお祈り致しております。

H・R 先生

後期高齢者になりました。鍼灸師の仕事は引退し、畑仕事に楽しみを見出しました。シルバーカーならぬトラクターを押して耕作を楽しんでいます。折々、卒業生の方が手伝ってくれて思いがけぬ喜びを味わっています。

H・K 先生

体育の教員をしていました。息子二人、娘一人、全て結婚しました。皆様、どうぞ、お元気で～！

Y・S 先生

私は昭和40年4月から45年まで目白学園高等学校に勤めていました。体育の教員としてお世話になりました。その後、聖マリアンナ医科大学で50年勤務しております。現在82歳です。目白では田口先生、小山先生、現在は杉沼先生などは存じています。未だ現役です。

A・K 先生

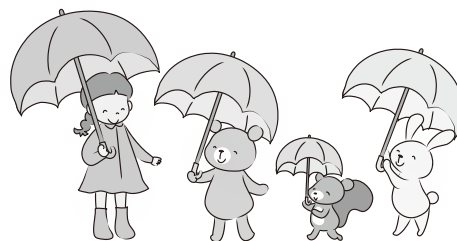
この度は素晴らしい会報ありがとうございました。目白学園の光輝ある歴史がよく判りました。折から夏の高校野球、見事な発進振りで今後が楽しみです。在職時、中学ソフト部の顧問でした。

M・H 先生

年月の流れが速く思うこの頃でございます。ピアノの指導を続け乍らも元気に過ごしております。ますますのご発展をお祈りしております。

M・E 先生

中学・高等学校の100周年を迎えられたことお喜び申し上げます。記念誌拝読させて頂きました。発行に至る期間には並々ならぬご苦勞がございましたとお察しいたします。今後も同窓会の皆様のご尽力が学校を支える基盤になることを願い、お力を發揮して頂けることを切望致しております。



同窓会総会のはがきの近況報告欄にたくさんのコメントをいただき有難うございました。昨年度は100周年記念の特別号を発行し、多くの反響をいただきました。コメントは次回の会報でもご紹介させていただきます。

同じ時代を共に過ごした同窓生同士、また時代は違えど学園の様々な思い出を共有できる同窓生の憩いの場が「研心ミニレター」です。

多くの方々に楽しみにご覧いただいております。ぜひ、これからも皆さまの近況をお知らせください。お待ちしております！



卒業生子女入学金優遇制度

目白研心中学校・高等学校同窓生のお子様や兄弟姉妹が、目白学園に設置する学校（目白研心中学校・高等学校、目白大学、目白大学短期大学部、目白大学大学院）に入学される場合、**入学金が全額免除になります！** 詳しくは下記入試窓口までお問い合わせ下さい。

(ただし目白学園幼稚園卒園生は対象外です)



▶大学、大学院、短期大学部の入試について

目白大学入学センター

TEL : 03-3952-5115

MAIL : colkoho@mejiro.ac.jp

▶中学校、高等学校の入試について

目白研心中学校・高等学校 広報部

TEL : 03-5996-3133

MAIL : jhkoho@mejiro.ac.jp

目白研心中学校・高等学校にお子様の入学をお考えの方へ

学校説明会等の日程は、目白研心中学校・高等学校のホームページからご確認ください。

(開催日の一か月前よりホームページからお申込みが可能です)



目白研心中学校・高等学校 2024年度 説明会 日程

中学説明会	日程	開始	終了	高校説明会	日程	開始	終了
第1回	5/18(土)	10:30	12:00	第1回	7/27(土)	14:00	15:30
第2回	6/15(土)	10:30	12:00	第2回	8/24(土)	14:00	15:30
オープンキャンパス	7/13(土)	10:30	12:30	第3回	9/28(土)	14:00	15:30
第3回	8/24(土)	10:30	12:00	第4回	10/26(土)	14:00	15:30
第4回	10/5(土)	14:00	15:30	第5回	11/16(土)	14:00	15:30
第5回	11/2(土)	10:30	12:00	第6回	11/30(土)	14:00	15:30
授業見学会	11/13(水)	10:30	12:00	第7回	12/7(土)	14:00	15:30
入試体験会	12/21(土)	13:30	16:00				
第6回	1/11(土)	10:30	12:00				
第7回	3/22(土)	10:30	12:00				

同窓会と学園との架け橋を担ってくださる事務室長が、交代しました!

昨年8月、それまで事務室長として同窓会を支えてくださっていた堺文子さんが、他部署へ異動されました。

堺さんは令和元年に事務室長に就任され、その間、いつも爽やかな笑顔で私たちを迎えてくださっていたのが印象的でした。

4年以上にわたり同窓会にご協力いただいた堺さんに、心より感謝申し上げます。

堺さんの後任で事務室長に就任されたのが朝倉上景さんです。

朝倉事務室長は温厚でいらして、同窓会からの様々な要望を受けてくださるなど大変頼りになる方です。

同窓会では役員が学校に常駐することが難しいため、同窓会に寄せられるお問い合わせや郵便物などを、一旦、事務室が引き受けてくださっています。

いわば、同窓会と目白学園との架け橋を担ってくださっているのです。

朝倉事務室長、そして事務室の皆さま、いつも本当にありがとうございます!

事務室長よりご挨拶



昨年8月から前任の堺より事務室長を引き継ぐこととなりました朝倉上景と申します。

中高事務室に配属され4年目を迎えました。

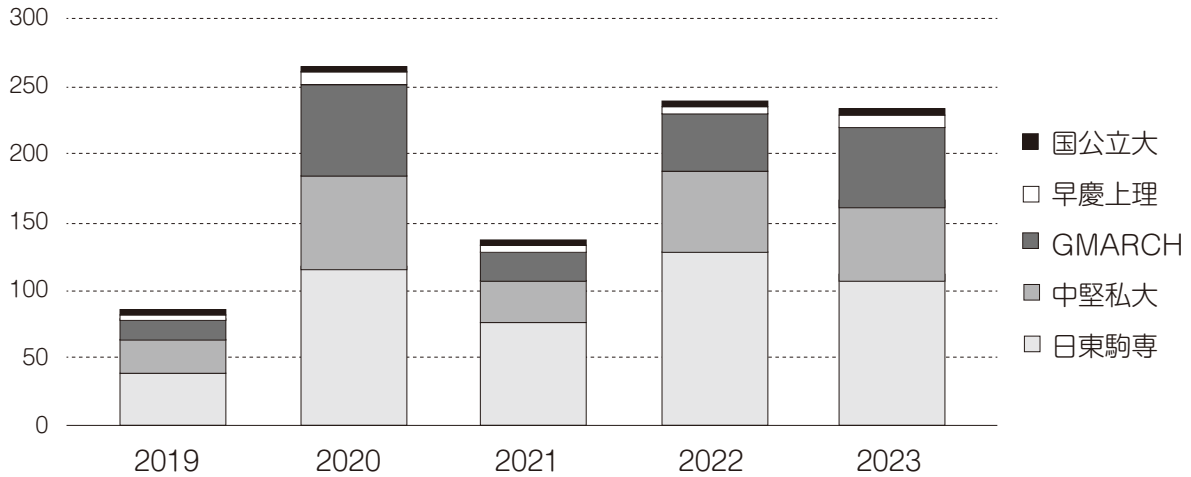
同窓会会員皆様の母校愛にはいつも敬服しております。

引き続きまして学園へのご支援ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

2023年度 進路状況

進路指導部主任 齋藤 誠

■過去5カ年の合格実績 (国公立～日東駒専まで)



	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
国公立大	4	3	5	5	4
早慶上理	4	9	4	7	9
GMARCH	16	68	21	40	55
中堅私大	24	67	31	61	56
日東駒専	38	116	75	126	111

※ 2023年度国公立大学合格校：茨城大学、東京藝術大学、東京都立大学、埼玉県立大学

※ 中堅私立大学：成蹊大学、成城大学、明治学院大学、獨協大学、國學院大學、武蔵大学

■合格大学群と実数

早慶上理		GMARCH		中堅私大		日東駒専	
早稲田大学	4	学習院大学	4	成蹊大学	11	日本大学	37
慶應義塾大学	4	明治大学	8	成城大学	8	東洋大学	49
上智大学	1	青山学院大学	12	明治学院大学	6	駒澤大学	13
東京理科大学	0	立教大学	9	獨協大学	14	専修大学	12
—		中央大学	13	國學院大學	10	—	
—		法政大学	9	武蔵大学	7	—	
計	9	計	55	計	56	計	111

■総括

コロナの影響もおおむね収束し、全国的に落ち着いた入試となりました。本校においては、昨年度の高校3年生も一昨年度に続き大変よく健闘してくれました。一般選抜・総合型選抜・学校推薦型選抜のどの形式を選んだとしても、自分の目標を下げず、最後まであきらめずに挑戦することの大切さを実感できる年でした。今年度もこれまで通り様々な学校行事が実施される予定です。卒業生による在校生に向けた進路講演会等も予定されておりますので、みなさまにご協力いただけたら幸いです。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

研心トピックス

芸術鑑賞会

「劇団四季 アナと雪の女王」



素敵なポスターが生徒達を迎えてくれます

2023年11月8日(水)、浜松町にある四季劇場『春』にて芸術鑑賞会が行われました。中高芸術鑑賞会では音楽鑑賞や観劇などを通して、芸術を愛する心を育み豊かな情操を養うことを目的に毎年行っています。

2023年度は創立100周年記念として、劇団四季による「アナと雪の女王」を貸切公演で鑑賞しました。世界的なヒット作のミュージカルということもあり、聴きなじみのあるテーマ曲や、躍動

感のある演技に、生徒たちは大きな拍手を送りました。

また、今回はPTA文化活動の一環(共催という形)でも実施し、全校生徒のほかに多くの保護者の方々にもご来場いただきました。専用劇場ならではの迫力のある演出で、ミュージカルを間近に体験することができました。

同窓会役員も参加させていただきました

学校から同窓会役員にご招待いただき、劇団四季『アナと雪の女王』の公演(11月8日)に生徒や保護者の皆さまと一緒に参加させていただきました。

この公演は、創立100周年記念の学校主催の芸術鑑賞会として、四季劇場「春」に於いて貸し切りで鑑賞することができました。

舞台はディズニーの名作です。音や光による迫力ある演出に加え、馴染み深い曲や歌に魅せられ、劇に引き込まれていきました。

参加した役員からは「大感動で鳥肌が立ちました」「2階席だったので全体がよくわかり、綺麗で素敵でした」との感想がありました。

ご招待、ありがとうございました。素晴らしいミュージカルでした!



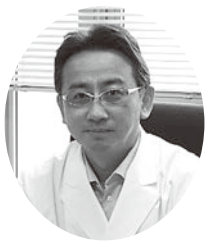
四季劇場「春」入り口(ウォーターズ竹芝内にあります)



1500席の客席を貸し切り開演を待ちます

ひどいめまいでお悩みの方 一度ご相談ください

目白学園のクリニック 紹介



さいたま岩槻キャンパス内に併設された目白大学耳科学研究所クリニックをご存知でしょうか? いったいどんなクリニックなのか、卒業生の皆様に紹介したいと思います。現在、クリニックはめまい診療の分野で先進的な取り組みを積み重ね、日本の医療界をリードする存在になっています。「クリニック」という小規模な診療施設ですが、国公立大学医学部付属病院と比べても診療や臨床研究の水準は高く、関東圏、全国各地から多くの患者が来院しています。もちろん、地域住民のための耳鼻咽喉科の一般診療や、岩槻キャンパス学生の臨床実習や健康サポートも行っています。この記事をお読みになって、是非卒業生の皆様もお気軽にご利用ください。

◆有名大学附属病院から患者紹介を受ける日本トップレベルのめまい診療

目白大学耳科学研究所クリニック(目白大学クリニックから改名)は、医学部を持たない大学でありながら医療機関を有するという全国でもユニークな医療系大学として、2008年4月にさいたま岩槻キャンパス5号館内に設置されました。中耳炎や花粉症などの耳鼻咽喉科一般診療に加えて、めまい、耳鳴り、難聴、睡眠時無呼吸症候群に対して専門的な治療を行っています。

特にめまい外来では、30年以上の臨床経験と最先端の診療技術をもち、めまい相談医の資格を有する伏木院長と角田医長(いずれも言語聴覚学科教授)の2名の医師が患者一人一人を丁寧に診療しています。「どこに行っても治らないめまい患者」は全国各地から来ています。東京大学医学部附属病院、東京医科歯科大学病院、埼玉医科大学国際医療センター、自治医科大学附属さいたま医療センター、獨協医科大学埼玉医療センターなどの関東圏の大学病院をはじめ、昨年度は約150の医療機関から紹介を受けています。この実績が医療界でのクリニックの立ち位置を表しています。

めまいは若年者から高齢者まで幅広い年齢層で自覚する症状です。65歳以上の高齢者では3人に1人が日常生活に支障を来すめまいやふらつきを経験していると報告されています。少子高齢化が進むわが国で、目白大学耳科学研究所クリニックの社会的意義はますます高まっていくと思われます。



◆頼りになる言語聴覚士

保険診療でリハビリテーション(言語聴覚療法)を実施していることも大きな特色です。聴覚障害や言語発達障害、発声発語機能障害、摂食・嚥下障害、失語・高次脳機能障害という言語聴覚障害の領域において、クリニック専従の言語聴覚士や言語聴覚学科の教員が専門的に評価、指導・訓練や家族支援を行っています。クリニック専従の言語聴覚士は、高齢者一人一人の聞こえの状況に合わせた補聴器調整を丁寧に行っています。

◆世界水準の臨床研究と日本の医療界への貢献

現在、3名のクリニック教員（伏木教授、角田教授、坂崎講師）と7名の客員研究員がそれぞれの専門性をいかして、世界水準の臨床研究を行っています。国から研究実績を認められて支給される科学研究費助成事業（科研費）を8件獲得しています。2023年度は一流国際学術誌に英語論文6編を発表しました。これにより世界的に権威のあるドイツ・ミュンヘン大学、ハーバード大学、メイヨークリニック、ピッツバーグ大学とも交流を深めています。研究成果は評価され、国際学会や全国学会のシンポジウムやパネルディスカッションに指名を受けて招待講演を行っています。

目白大学耳科学研究所クリニックは、めまい疾患に対して世界水準のリハビリテーションを先駆的に取り入れ、論文発表も含めて日本で定着させていきました。このような活動が日本でもリハビリテーションが必要だという動きに繋がり、さらに学会でのリハビリテーション標準化の動きに発展しました。そして今年2月に、日本めまい平衡医学会から「前庭リハビリテーションガイドライン」が刊行されました。ガイドラインは各疾患に対して日本全国の医師が倣う標準的治療の指針です。伏木院長はガイドライン作成委員長です。医学部を持たない大学教員がガイドラインを作成することは異例のことです。前庭リハビリテーションガイドラインは、めまいやふらつきに悩む患者に対し、今までの投薬中心の治療からエビデンスに基づいた運動療法へとパラダイムシフトするものであり、日本のめまい治療の軸を大きく変えていくこととなります。



◆第一線の医療人がキャンパス内で生の医学教育

クリニックは目白大学の医育機関として重要な役割を担っています。学生にとってキャンパス内にある身近で学べる実習施設です。ここで学んだ学生は優れた医療人としての実力と自覚と自信を身につけて巣立ってゆきます。



【目白大学耳科学研究所クリニック寄付金制度】

この度は、目白研心中学校・高等学校同窓会の皆様、当クリニックをご紹介くださりありがとうございました。

ご紹介いただきましたように、専門的な「診療」、先進的な「研究」、医療系学部学生の実習施設としての「教育と人材育成」といった使命を持って、スタッフ一同、日々頑張っています。患者様に「安心・安全」で「良質な医療」を継続的に提供するためには、優秀なスタッフの確保と各種医療機器類の基盤を整える必要があります。昨今、コロナウィルス感染症蔓延等による影響によりクリニックの運営は大変厳しい状況です。

つきましては、卒業生の皆様におかれましては、上記の趣旨にご賛同いただき、格別のご支援ご協力を賜りたく、ここに謹んでお願い申し上げます。

目白大学耳科学研究所クリニック院長 伏木 宏彰



※クリニックの近況や寄付金制度について、詳しくはクリニック HP をご覧ください。

年 月 日

目白研心中学校・高等学校
同窓会 会長殿

住所・氏名の変更および郵便物停止届

以下のとおり変更しましたので届けます

卒業コード番号 (封筒の宛名ラベルに記載)			
卒業学校 (○で囲ってください)	• 目白研心 • 目白女子商業	• 目白学園 (普通科、商業科含む) • 延岡実践学校	• 男子目白商業
卒業年月 (西暦・元号どちらでも可)	昭和・平成・令和 年 月 卒業		
生年月日 (卒業年月が不明の場合)	大正・昭和・平成 年 月 日生		
フリガナ		フリガナ	
氏 名		旧 姓	
フリガナ			
新 住 所	〒		
電 話 番 号	自宅		
	携帯		
同窓会から発送するお知らせが郵送不要 (物故含む) の方はレを入れてください <input type="checkbox"/> 今後郵便物は停止してください			
通 信 欄			

- 卒業コード番号は宛名ラベルに記載されている「アルファベットと数字を組み合わせた番号」です
- この用紙を使用する場合は郵送または FAX にて以下の連絡先までご送付願います

【郵送先】 〒 161 - 8539 東京都新宿区中落合 4 - 31 - 1

目白研心中学校・高等学校事務室 同窓会宛

【F A X】 03 - 5996 - 3066

※この変更届をご使用の場合は、コピーまたは切り取ってご使用ください。

■ インフォメーション

桐 陽 祭

日 程

2024年9月14日(土)・15日(日)

9:00～14:00

■退職された先生方

仁井田 始 教諭 (国語科)

島田 愛美 教諭 (数学科)

平川裕美子 教諭 (国語科)

松原 里紗 教諭 (体育科)

★今年の桐陽祭は上記の通りです。ここ数年は、コロナ禍で自粛を余儀なくされ入場制限を行っておりましたが、今年は同窓生はどなたでも見学できます。受付で「同窓会」または「卒業生」と伝えてご入場ください。100周年記念の会報をお読みになった方々からの「目白研心を訪れたい」という声が届いております。桐陽祭は学園を訪問していただくよい機会ですので、皆様、どうぞ懐かしい学園にお越しください。

★昨年は記念号を発行しました。たくさんの方からハガキに一言をいただきまして、ありがとうございます。皆様からの一言は抜粋して「研心ミニレター」に掲載させていただきました。続きは次号に掲載する予定です。

★住所変更の際に卒業コードを記入して下さる方が多くなり、順調に変更作業を進められるようになりました。今後とも卒業コードの記入をよろしく願いいたします。

■ 編集後記

目白研心へ校名が変わり、現在の5号館が建て替えられた年に卒業し、14年が経ちました。同級生との交流の中で、「人生の転機」を迎える年頃となり、仕事や趣味、家庭などの様々な話を見聞きします。

私自身は目標としていた職業につき、育児と両立しながら、子どもの成長を楽しみに過ごしています。

今年こそは！と思いつつ、実行できていないあれこれを抱えたまま、あっという間に月日が過ぎ去っていきます。

輝く友人達に恥じないように、毎日を丁寧に暮らしていきたいです。 中島 佑子

2020年に卒業いたしました。

今春から社会人になりました。

私たちの代は卒業間近に新型コロナウイルス感染症が流行してしまい、卒業式を挙行することができませんでした。また、大学一年時はオンライン授業が中心でした。しかし、大学を卒業した今、「大学4年間は最高の4年間だった」と胸を張って言うことができます。勉学にサークル活動、友人との交流など、充実した4年間を送ることができました。

今後も同窓会に関わりながら、社会人として誠実に業務に取り組み、日々充実した人生を歩んでいきます。 伊東 翔太

目白研心中学校・高等学校同窓会 令和6年度 同窓会会報 新版第2号 (通号33号)

発行日：令和6年7月10日

発行：目白研心中学校・高等学校同窓会

住所：〒161-8522

東京都新宿区中落合4-31-1

電話：03-5996-3131

FAX：03-5996-3066

※本書を無許可で転写複製することを禁じます。

印刷：株式会社 愛甲社